

【地域学講座】洗足池、あなたにとってどんな場所？
第3回「洗足池“推し”マップを完成させよう」参加報告
(文化財担当聴き取り内容抜粋)

次第

1. アドバイザーの林さんのお話（15分） 学習支援者（アドバイザー）
2. グループワーク
3. 各グループで“推しマップ”を創る
4. “推しマップ”発表会

1. 林さんのお話

- ・第1のふるさと、渋谷区富ヶ谷出身。第2のふるさと、大田区千束。63歳のときに引越。
- ・当時はアオコや泡がたくさんで臭かった。昔は5つくらい湧き水があった。
- ・イチ推し：三連太鼓橋の雪の風景。月影が水面におちている風景。サクラ、松、柳の木々。千束八幡神社前のメタセコイヤ。



2. グループワーク

◎方法

<1・2回目の講義を振り返りましょう>

第1回・2回の講座を振り返り、学んだことや印象に残ったことをグループ内で共有すると共に、洗足池公園や地元の歴史等について意見交換をした。

◎ご意見

- ・勝海舟のイメージが「いろいろやった人」という程度だったため、勉強になった。
- ・勝海舟の西郷への思いを感じることができた。
- ・洗足池の月の風景がキレイ。昔は付近から富士山がみえた。名馬池月の伝承もある。
- ・ベンチがあり、車いすで一周できるようになった。休憩所がキレイになった。

3. “推しマップ”を創る

◎方法

<“推し”について確認>

マップに掲載する“推し”は、場所でなくてもよい。人、思い、記憶（昔のこと）も“推し”になる。有形・無形は問わない。これまでの講義やワークをとおして、新たに生まれた“推し”、進化させた“推し”もどんどん発表する。

<作業手順>

- 1 マップに載せたい“推し”を付箋（小）に書き出す。
- 2 なぜそれを選んだか説明し、質問し合う。

- 3 “推し”を分類し、同じ or 似たものは一緒に出来ないか等、相談して整理する。
- 4 掲載すると決めた“推し”に、マップを見た人が「行きたい、見たい」と思う説明やコピーを考える。
付箋（大） or マップに記入する。

<記入時の注意>

- ・昔の“推し”（記憶）はだいたい良いので、いつ頃のことかわかるようにする。現在と見分けがつくようにする。
- ・要望は読んだ人が具体的にイメージ出来て、親しみがわくように記載する。

◎マップ創りでの聴き取り

昔の内容

- ・勝だけでなく川瀬巴水も洗足池を好きだった。それくらい景観は大田区内で一番かも。
- ・昔はビジネスホテルが2、3軒あって観光地だった。
- ・前は池でとった魚を中原街道で売ってた。
- ・昔は遊園地があり、「ろくろ首」「おばけやしき」があった。
- ・桜山で昔詩吟を歌っている人、尺八を吹いている人がいた。
- ・前はボートじゃなくて5～6人のりの遊覧船があった。
- ・前は小学校の前、中原街道沿いにお店があった。追手に追われていた勝に「こっちに逃げろ！」と案内したと言われている。
- ・洗足池駅の橋の下にたこ焼き屋があり、その店主がおもしろい。

現在の内容

- ・ガイドをしたい。
- ・富士山などがみえるビューポイントがある。
- ・犬の散歩によい。
- ・洗足池公園内はみんなが自転車を押して歩くから安全！
- ・「地域をつなげる場」にしたい。
- ・寺の竹林は立派
- ・ふつうの公園とちがうところは「池があること」それが一番よい。
- ・洗足池の歴史やなりたちをもっと勉強したい。
- ・洗足池のそばのマンションをみつけたから関西のふるさとに戻らないと決めた。
- ・人生の中で子どもから老人まで楽しめることが色々あるのがよい。
- ・自転車置き場の案内や図書館などの施設案内図が欲しい。
- ・公園のさまざまな場所から、四季がわかるように景色を見られると良い。夕陽のうつくしさなど。
- ・交番となりのカフェの雰囲気がいよい。ハワイアン感じでよい。
- ・図書館のテラスは休憩するのにとてもよい。
- ・グーグルマップでも散歩ができてよい。

4. マップ発表会

◎1 班

- ・安心してこどもが遊べる。
- ・「自然との共存」を原則に公園をつくりあげていきたい。
- ・勝は無血開城と関係しているため、「平和」を押し出していくとよい。
- ・六中の洗足池での活動はSDGsに繋がるものだと思う。



◎2 班

- ・様々なジャンルの話が出て、意外と知らないことがたくさんあることがわかったため「洗足池トリビア」というタイトルにした。
- ・駅からの風景はフォトスポットになる。
- ・都の水道「洗足池かん線」が地下にある。水再生センターまで森ヶ崎まで続いている。見えないところもおもしろく、「洗足池」の名前がついているのがおもしろい。
- ・洗足流れや清水窪湧水もあり、「水の都」的などころである。
- ・夜は逆に洗足池の南側にいく人が多い。北側にも飲食店があるとよい。9:1で南側に行く。

◎3 班

- ・「昔の洗足池」を中心に「昔なつかし洗足池」というタイトルにした。
- ・かいぼりしたときのことを覚えている。
- ・昔はゲートボール、ミニゴルフをやっていた。
- ・旅館もたくさんあった。
- ・神社のところで鹿を飼っていた。

◎4 班

- ・昔のことは他班がまとめているため、A班は「今」のことにフォーカスした。
- ・自然に恵まれていて、お散歩によい。「夫婦円満のさんぽみち」なのではないか。弁天様は女だから嫉妬して別れるという伝説もあるが、洗足池は心の広い神様かもしれない。ボートも夫婦円満に良い。
- ・こども広場はグラウンドゴルフもやっていて、こどもだけではなく楽しめる。
- ・水生植物園の前の八つ橋は星を見るのにもよい。
- ・勝と六中の間からも富士山が見える。

◎その他聞き取りメモ

- ・「名勝」という漢字を知らない人がいた。「名所」と聞き間違えやすい。